

平成 26 年 5 月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 伊 東 英 二

書記 鈴 木 和 賀 子

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 平成 26 年 5 月 30 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

◆場 所 壺番館庁舎 3 階 共用会議室

◆出席委員

委 員 長	柴田 仁市郎		
委員長職務代行者	太田 忍	委 員	山田 達磨
委 員	池野 暢子	教 育 長	高橋 睦磨

◆欠席委員

◆事務局

教 育 部 長	菅原 靖彦	教育総務課長	会澤 ゆりみ
生涯学習課長	渡辺 常幸	学校教育課長	高橋 義孝
市民交流センター館長	本田 幹枝	教育総務課長補佐兼総務係長	伊東 英二
教育総務課専門主査	鈴木 和賀子		

◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 議案
 - ① 議案第 10 号 議案に対する意見について
(塩竈市生涯学習センター条例の一部を改正する条例)
 - ② 議案第 11 号 議案に対する意見について
(塩竈市立第三小学校(東校舎)大規模改造工事に係る請負契約)
 - ③ 議案第 12 号 塩竈市社会教育委員の委嘱について
 - ④ 議案第 13 号 塩竈市生涯学習センター審議会の委員の委嘱について
 - ⑤ 議案第 14 号 塩竈市民交流センター審議会の委員の委嘱について
 - ⑥ 議案第 15 号 塩竈市文化財保護審議会の委員の委嘱について
- 5 教育長報告
 - ① 第 6 6 回都市教育長協議会定期総会並びに研究大会鹿児島大会について
- 6 教育部長報告
 - ① 塩竈市震災復興計画の関連事業等について
- 7 その他報告
 - ① 児童生徒状況一覧(平成 26 年 4 月分)
 - ② (仮称)杉村惇美術館整備事業の進捗状況等について

③塩竈市サッカーワールドカップ応援プロジェクトについて

④登録有形文化財―「丹六園店舗兼主屋」の登録について

8 閉会

1 開会 午後 1 時 30 分

2 前回会議録承認

山田委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

太田委員と高橋教育長を指名

4 議案

(1)生涯学習課長から、以下のことについて説明

①議案第 10 号 議案に対する意見について

(塩竈市生涯学習センター条例の一部を改正する条例)

(委員全員異議なし) 原案のとおり可決

[主な質疑]

・池野委員

指定管理者の職員の給料は別に支給されるのか。

・渡辺生涯学習課長

美術館運営全体を指定管理者に委託する。指定管理者は、美術館に館長や事務職員を置き、職員の給料は指定管理者が定め、支給する。現在の塩釜ガス体育館と同じ運営形態になり、この場合、指定管理者となった塩釜市体育協会が給料を定めている。

・柴田委員長

委託料は、今までの職員配置をベースに試算しているのか。また、委託料はすでに決まっているのか。

・渡辺生涯学習課長

体育館の場合は、指定管理者制度以前は直営で行っていたが、美術館については新規の事業なので、他市の美術館の管理運営の例を参考に試算した。年間の利用料等も含めた収支計画の必要経費として 2,300 万円を考えている。

・柴田委員長

指定管理者については、どのようにして決めるのか。

・生涯学習課長

公募を予定している。

(2)会澤教育総務課長から、以下のことについて説明

①議案第 11 号 議案に対する意見について

(塩竈市立第三小学校(東校舎)大規模改造工事に係る請負契約)

(委員全員異議なし) 原案のとおり可決

[主な質疑]

なし

(3) 渡辺生涯学習課長から、以下のことについて説明

- ① 議案第 12 号 塩竈市社会教育委員の委嘱について
- ② 議案第 13 号 塩竈市生涯学習センター審議会の委員の委嘱について

(委員全員異議なし) 原案のとおり可決

[主な質疑]

なし

(4) 市民交流センター館長から、以下のことについて説明

- ① 議案第 14 号 塩竈市民交流センター審議会の委員の委嘱について

(委員全員異議なし) 原案のとおり可決

[主な質疑]

なし

(5) 生涯学習課長から、以下のことについて説明

- ① 議案第 15 号 塩竈市文化財保護審議会の委員の委嘱について

(委員全員異議なし) 原案のとおり可決

[主な質疑]

なし

5 教育長報告

(1) 高橋教育長から、以下のことについて報告

- ① 第 6 6 回都市教育長協議会定期総会並びに研究大会鹿児島大会について

〔主な質疑〕

・柴田委員長

土曜日教育ボランティアの対象者は誰を想定しているのか。土曜日に地域連携ということを含めて、地元の学識経験者や町内の方々の話を子どもたちに聞かせる授業などはしないのか。

・高橋教育長

民間で行っている教育支援のパッケージを活用し、民間と連携して学校で受け入れていくといったものを想定している。民間の塾の先生を招聘して、塾でなされているような即戦力を高めるものや、地域の方の話を聞く機会等を取り入れようと考えている。ただの補習的な授業ではなく、夢と希望を持たせるような活動を考えていきたい。

6 教育部長報告

(1) 菅原教育部長から、以下のことについて報告

①塩竈市震災復興計画の関連事業等について

〔主な質疑〕

なし

7 その他報告

(1) 高橋学校教育課長から、以下のことについて報告

①児童生徒状況一覧（平成26年4月分）

〔主な質疑〕

・山田委員

中学校の件で、小学校の時から複雑な家庭環境であったとのことだったが、今回の事件が起こる前にもっと小学校と綿密に情報交換をして、受け入れる時に注意を払って手厚く受け入れる体制をとらないと小中連携が言葉だけのものになるのかと思う。

今回も事件が起こってから小学校の先生に話を聞いたということだったが、中学校に入学する時点では把握はされていなかったのか。

・高橋学校教育課長

毎年、3月の中旬から下旬に小学校6年生の担任から中学校3年生の担任に引き継ぎを口頭で行う。また、授業参観に中学校の先生が小学校に行ったり、小学校の先生が中学校に行ったりすることもある。今回の件では、中学校の1年生の担任が今年度転入してきた先生だった。書面での引き継ぎはあったのだが、口頭での引き継ぎの時は、今の担任の先生は参加していなかった。しかし、今回もつ

と踏み込んだ内容で時間をかけた引き継ぎの必要性を感じたので、改めて情報交換の場をもっと強化しなければならないと考えている。

・山田委員

次年度からは、引き継ぎ等に関しては学校全体として共有できるような体制をつくらないと、小学生から中学生になった時のギャップというのは子どもたちにも大きなものがあるし、いろいろなところに影響が出てくると思う。

・高橋教育長

学校には、様々な形での引き継ぎ・観察をお願いしている。例えば、発達障害や普通学級に所属し特別支援を受ける子どもたちについては、中学校の特別支援の先生を小学校に派遣し授業を観察し、学級担任と話をしている学校もある。また、小学校の卒業式の様子から、注意が必要な子どもについて管理職が情報収集したりしている。2つの小学校から1つの中学校になる学校については、トラブルが起こりがちである。

今回の件について、教育委員会のバックアップ体制としては、増員して授業観察をしていく予定である。警察のOBの方を、生徒指導支援員として配置しようとする予定している。宮城県教育委員会の義務教育課にも指導をする立場の方がいるので、様子を見ながら、要請していきたいと考えている。

・柴田委員長

小学校6年、中学校3年ということではなく、9年間という期間できちんと子どもたちをみていかなければ色々な問題が出てくるのかと思う。

(2) 渡辺生涯学習課長から、以下のことについて報告

- ① (仮称) 杉村惇美術館整備事業の進捗状況等について
- ② 塩竈市サッカーワールドカップ応援プロジェクトについて
- ③ 登録有形文化財―「丹六園店舗兼主屋」の登録について

[主な質疑]

・柴田委員長

サッカーワールドカップ応援プロジェクトは、どこが主催しているのか。

・学校教育課長

さいたま市の市長が主催で、越前市の市長が副会長をしている。越前市から職員の協力をいただいている関係で塩竈市がこのプロジェクトに参加している。全国で約270市町村が加盟しており、宮城県では、石巻市と名取市が参加している。塩竈市では、市民にバナーに応

援メッセージを書いていただき日本代表の壮行式に届けている。

8 閉会

午後 3 時 00 分

《會議録署名委員》

2 番委員

(太田委員)

5 番委員

(高橋教育長)